



歯科医院様向資料

LION  
歯科用  
歯肉炎・歯槽膿漏薬

デントヘルス PRO<sub>A</sub>

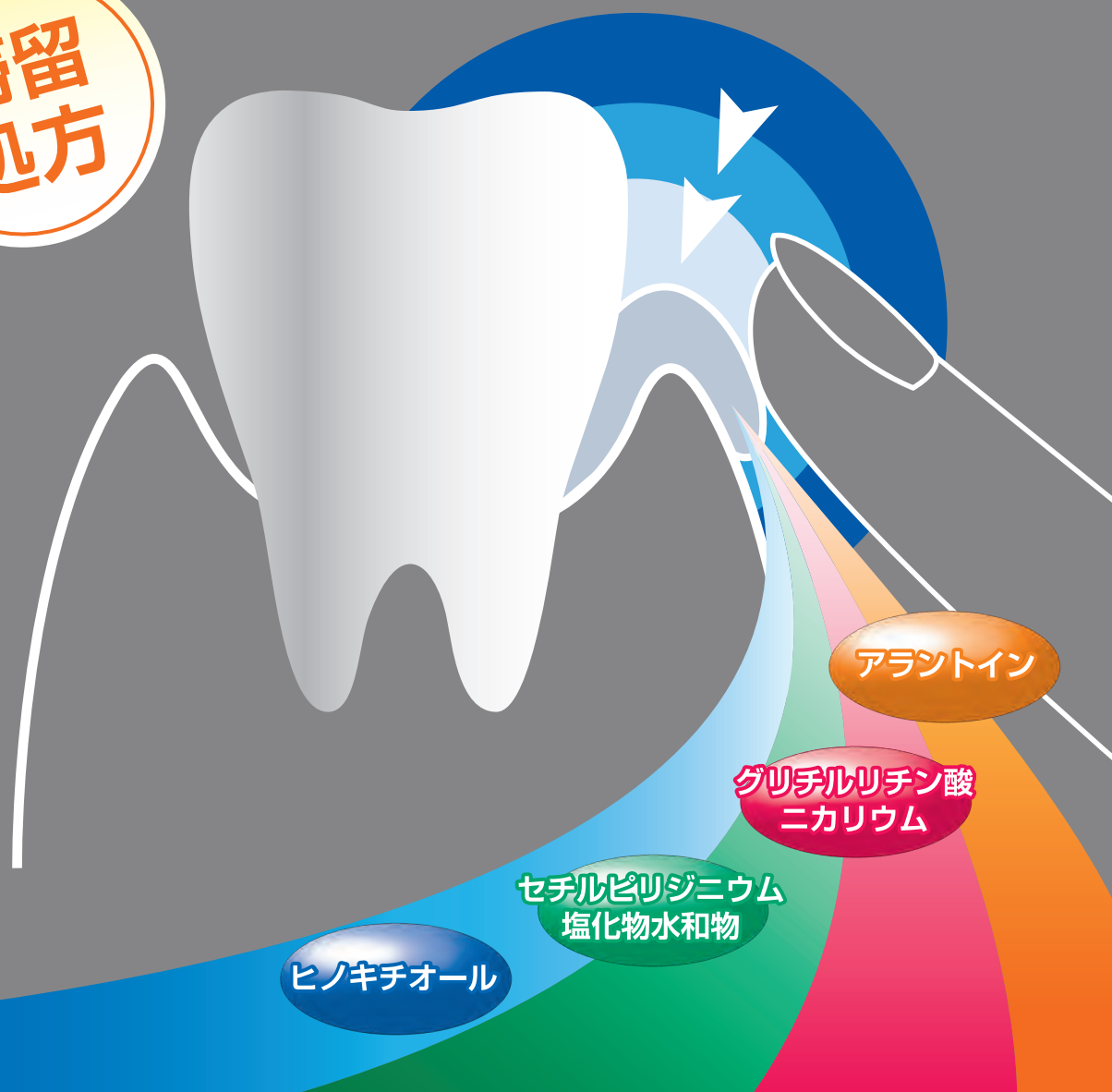
患部に直接、指で塗る歯槽膿漏薬

# デントヘルス PRO<sub>A</sub>

第3類医薬品

歯グキの発赤・はれ・出血・痛み、口内炎に  
4つの有効成分が、  
患部にとどまり優れた効果を発揮！

滞留  
処方



アラントイン

グリチルリチン酸  
ニカリウム

セチルピリジニウム  
塩化物水和物

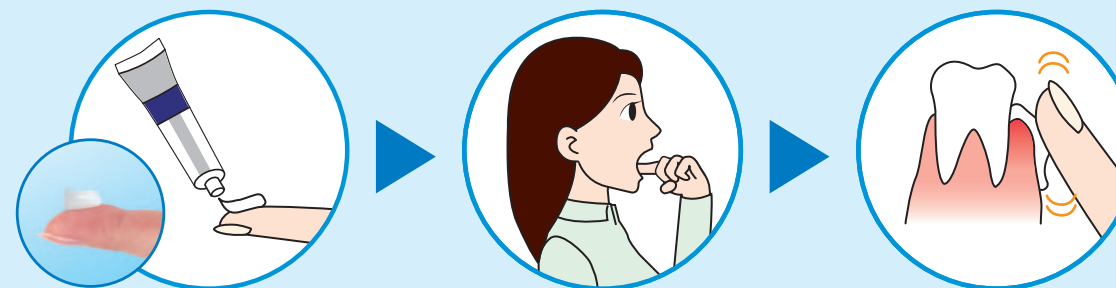
ヒノキチオール

## 効能

歯肉炎・歯槽膿漏における諸症状（歯グキの出血・発赤・はれ・うみ・痛み・むずがゆさ、口のねばり、口臭）の緩和、口内炎。

## 用法・用量

歯肉炎・歯槽膿漏：1日2回（朝・晩）ブラッシング後、適量（約0.3g、約1.5cm）を指にのせ、歯グキに塗り込んでください。  
口内炎：1日2～4回、適量を患部に塗ってください。



① 清潔にした指に適量（約0.3g、約1.5cm）をのせます。

② 口を開き、患部に直接あてます。

③ 患部にやさしく塗り込んでください。

※注意：1. 使用に際しては、説明文書をよく読んでください。2. 直射日光の当たらない涼しい所に密栓して保管してください。

## こんな時にお使いください

歯周病治療の補助として  
お使い頂ける医薬品です。

患者さんご自身でお使い頂くことはもちろん、  
チェアサイドでの処置の一環としても  
ご活用頂けます。

歯肉炎・歯槽膿漏の  
急性炎症期における一次処置として  
お使い頂けます。

患者さん自ら患部へ塗布することで、  
口腔内状態を自覚し、  
治療モチベーションアップが期待できます。

※歯周病は、歯肉炎・歯槽膿漏の総称です。

## ■成分（100g中）

●有効成分：グリチルリチン酸ニカリウム 0.4g／アラントイン 0.3g／ヒノキチオール 0.1g／セチルピリジニウム塩化物水和物 0.05g  
●添加物として、カルボキシビニルポリマー／ヒプロメロース／ポビドン／アルギン酸Na／pH調整剤／グリセリン／エタノール／ポリソルベート60／ステアリン酸ソルビタン／シヨ糖脂肪酸エステル／流動パラフィン／香料／L-メントールを含む。

## ■仕様

商品名	容量/個	内装入数
デントヘルスPRO <sub>A</sub>	20g	10個

デントヘルスPRO<sub>A</sub>は、医薬品のため、医薬品の卸売販売業の許可を持った商店様へご注文ください。

ライオン歯科材株式会社

〒111-8644 東京都台東区蔵前 1-3-28 TEL.03(6739)9012

ライオン歯科材 検索

<http://www.lion-dent.com>

株式会社モリタ

有効成分が患部にとどまり直接効く、指で塗る歯槽膿漏薬

# デントヘルス PRO<sub>A</sub>

歯肉炎・歯槽膿漏の患部（歯グキや歯周ポケット）に塗って、ダイレクトに作用する塗布タイプの歯槽膿漏薬。滞留性に優れたゲルが患部に長くとどまって浸透し、有効成分が直接作用するから、歯肉炎・歯槽膿漏の諸症状、口内炎に優れた効果を現します。

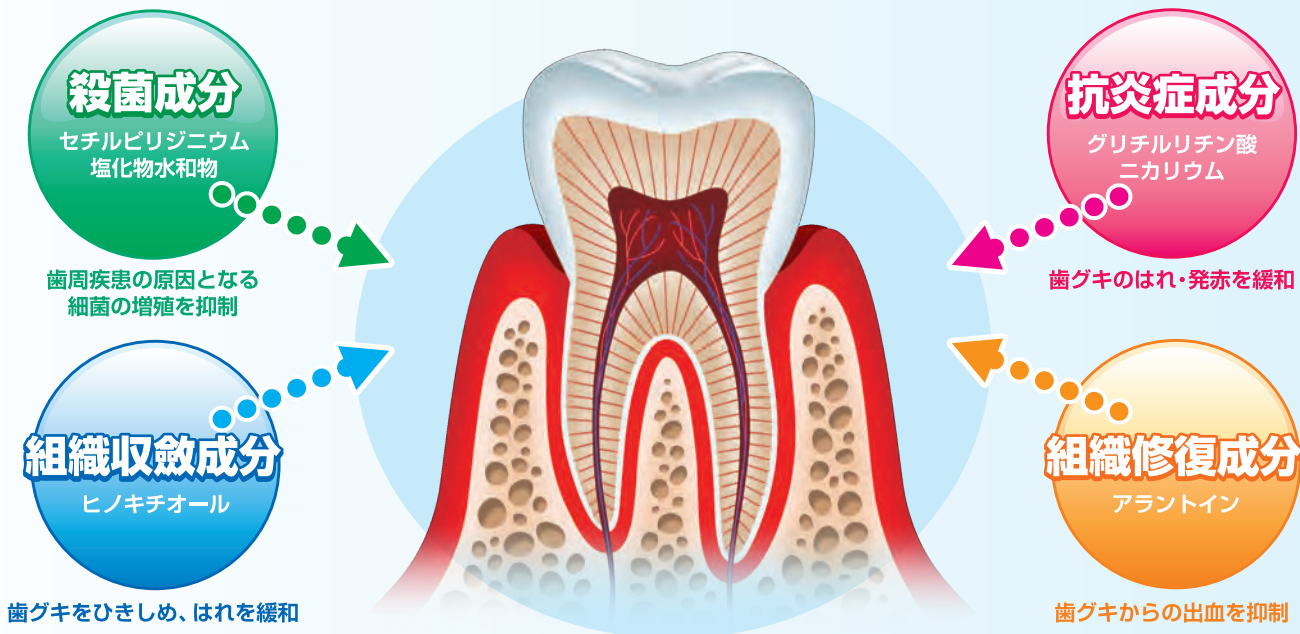
第3類医薬品



## 特長1 4つの有効成分が、歯グキの発赤・はれ・出血・痛み、口内炎に優れた効果を発揮します。

さまざまな臨床症状を示す、複雑な炎症疾患である歯肉炎・歯槽膿漏。有効成分を組み合わせることで、そのような諸症状の改善効果を期待できることが、臨床評価<sup>\*</sup>でも確認されています。

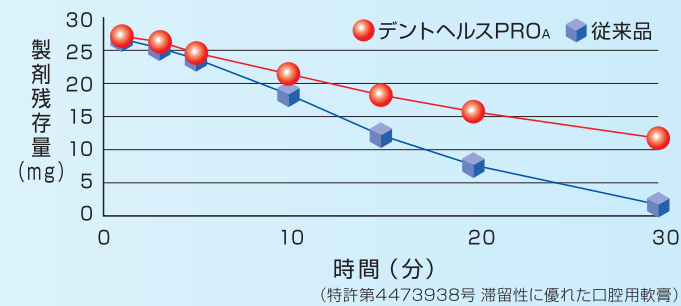
※出典は右ページの臨床評価をご参照ください。



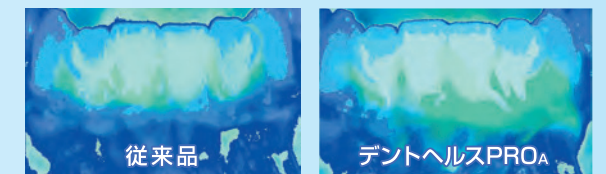
## 特長2 “滞留処方”で患部にとどまる力がさらにアップ！（当社比）

アルギン酸ナトリウムを新配合し、粘性を高めた“滞留処方”。唾液で流れにくく、歯グキに長時間とどまり浸透します。

### ■人工唾液中での製剤の滞留性



### ■口腔内での製剤の滞留性



被験者に蛍光物質を配合した製剤0.3gを塗布し、20分後に口腔内の蛍光写真を撮影。緑色に見えるのが滞留した製剤。

## 臨床評価で優れた効果が証明された4つの有効成分<sup>※1</sup>

4つの有効成分を含む水溶性ゲル軟膏を用いた臨床評価<sup>※2</sup>から、以下のような優れた効果が確認されました。

※1：セチルピリジニウム塩化物水和物、グリチルリチン酸二カリウム、ヒノキチオール、アラントイン

※2：1日に朝晩2回、ブラッシング後に適量(約0.3g)を指で被験部歯肉に塗布。評価期間は、歯肉炎・歯周炎が4週間、口内炎が1週間。

出典：日本歯周病学会会誌第33巻第4号

### 全般改善度

#### 歯肉炎・歯周炎

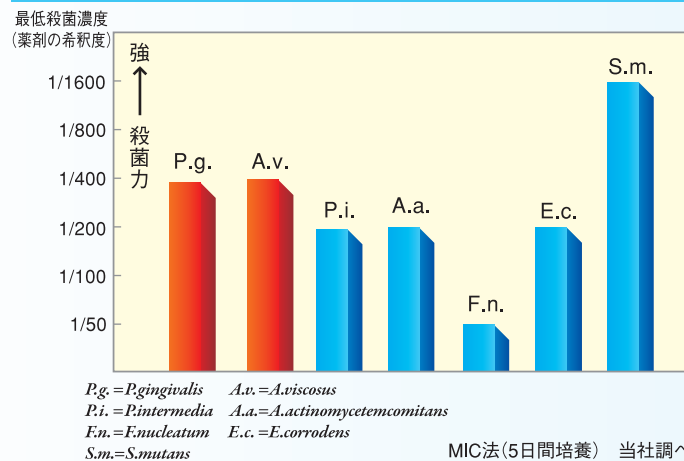
全般改善度において、**89%が「軽度改善」以上**を示しました。



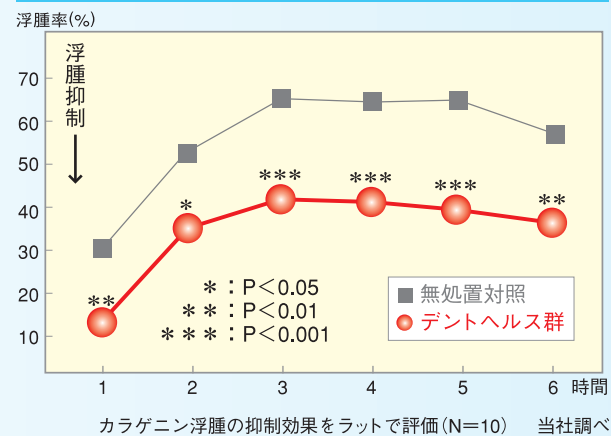
#### 口内炎

中等度改善  
著明改善  
中等度改善以上 **100%** (n=42)

### 殺菌作用 (口腔内細菌に対する殺菌作用)



### 抗炎症作用 (浮腫抑制作用)



(臨床評価) ●明海大学歯学部歯周病学教室 ●日本大学歯学部保存学教室歯周病学講座 ●日本歯科大学歯学部歯周病学教室